

八月の手技材料

目白幼稚園 和田 實

八月は朝顔が盛んに咲きます。朝顔の花の押帖りは子供の悦ぶものですから、之を行つて見るとよいでせう。

臺紙は畫學紙で、各兒の名前を記して、之に適當な位置に花を載せさせ、成る可く花の形を損せぬ様にして其上に用意した新聞紙の切つたのを四五枚づゝ載せては重ね、載せては重ねして、一番上に何か重いものを重しに載せて置きます。翌日は間々に載せた新聞紙を新らしいのに取り換えてまた重しをして置く。斯様にして一週間もするとすつかり出来上ります。出来上つたものは壁に二三日掲示するとよいと思ひます。續いて同じ様に

して、植物腊葉標本を子供の採集したもので作つて遣ると面白いでせう。そして是等の仕事は出来るだけ子供を使つて手傳はせることが必要です。

蟲籠、そろ／＼蟲の時季となりました。子供の聞き別け出来る蟲のいろ／＼に就いて、觀察的の仕事が澤山ありませう。續いては蟲籠の製作は適當と思ひます。作り方はいろ／＼ありませうが、最も子供に出来易い仕方はボール箱を作つて其前の方だけを動物の檻の様にする方法です。先づ巾十七糎長二十糎のボール紙の四隈から五糎平方づゝを切り取り折り曲げて箱の縁となる部分と底となる部分との境目に切り目を入れて容易く折り曲

げられる様にして子供に渡し、折り曲げて箱の形にして見させる。次に巾五糶の紙(色い適宜)を與へて糊をつけさせ箱の周りをはらせる。此時の紙の巾は五糶より廣いもので、底の方へ少し折り返させても宜しい。細工は少し困難でせうが甘く出来れば仕上は却つてきれいになります。或は又巾が狭くて箱の横面を全部覆はなくても差支ありません。箱の底即ち出来上つた籠の背面になるところは背面積より少し小さく切つて紙で帖らせる。是で蟲籠となるものゝ本體は出来ました。之を傍に描いておいて、次に籠の背面を同様な大きさに切つたボール紙を更に、周圍三分通り位を残して額縁形に切り抜き、之に「ヒゴ竹」を額縁の長さ

口の爲めに一本のヒゴを少し長くして置いて糊の乾かぬ中に時々指先で回して糊のきかぬ様、そして抜き差しの出来る様にして置くと宜しい。然もなくば箱の縁の何處かに缺を入れて入口を別に造らねばなりません。是で蟲籠は出来上りました。之にクツツ蟲、スズ蟲、キリギリス、コウロギ、マツ蟲等を一疋づゝ入れて、胡瓜、茄子、冬瓜等の一切を餌にヒゴの間にはさんでやつて、數日間は幼稚園に置いて其泣き聲を鑑賞させるとよいと思ひます。蟲の形體と泣き聲と名前とが能くわかつたら家土産に持たせて歸すが宜しいでせう。

蟲の貼り紙と繪、折り紙のバツタも此時にするが適當でせうが、更に紙細工で蟲の體を色紙で切り抜きクレオンで、足を書き添へても面白いでせう。または、全く寫生的に圖畫の方面に入つても面白いでせう。先生の書き與へた輪廓を塗らせて

もよし、先生の塗板畫を眞似させてもよし、自由な寫生をさせてもよし、また是等の方面を色々と行つて見てもよいでせう。八月から九月に掛けては蟲の爲めに楽しみもし稽古もし得るものであります。

お月見、九月はお月見の月であります。種々な手技材料と圖畫の材料とが豊富に得られることと思ひます。お月見に供へたすゝき、團子など實際に見たまゝを先づ繪に書かせたらよいと思ひます。先生も或は塗板に、或は大きな紙に、或は色チヨークで、或はクレオンで色々書いて見せると面白いでせう。殊にボール紙に色チヨークの略畫は子供には面白く感ずるものであります。次には、すゝきに能く似た小さな草を探つて來て粘土細工でも團子を作り草を小さい瓶にさし、お月見の眞似事するのも面白いでせう。或は眞ものゝすゝきに團子だけ粘土にして實際のお月見と同様

にしてもよいでせう。お月見の催ふしには遊戯や唱歌が盛んに利用されるでせう。其後はお月見の塗繪が最も適當ですまんまるい大きな月をきれいに塗り上げるには可なりな努力を要します。

幼稚園に適する芋版、印行をおもちやにすることは子供の悦ぶものです。夫れで、大根の切り口をお月様に赤いスタンプインキで捺して見ると存外面白いお月様が出来るので子供は大悦びです。畫學紙の上に適當な所にお月様を捺してやつて、其下に雲や家やを書かせるのも一興でせう。其後で之に適宜の道具で文字の様なものを彫らせて、之を捺して見るのも面白いでせう。芋版材料にはジャガ芋、サツマ芋、大根、にんじん、茄子のへた等が宜しい様ですが西瓜の皮や瓜の尻尾でもよいと思ひます。彫る道具は普通小刀ですが幼稚園にはまだ少し危険が多い様です。夫れで、私は一つの道具を考案しました。夫れは、ブリキ又はトタ

ンを長さ三寸巾三分位に切つたものを中央から曲げて八圖の様にし、其股の中に筆軸の不用なものを中程迄はさんで、糸で確かりと結び付けるのです。出来たらば此ブリキの先端の處で芋の面を引き搔くと自由に文字でも、何でも書くことが出来ます。但し出来たものは凹んで出来るので、版を捺すと白く出ます。之を反對に陽形に出さうと云ふことは一寸技術が要るので子供には困難でせう。

以上で八九月に跨る手技の材料選擇の方面は大體盡きた様です。昨年十月稿を起してから約一ヶ年、各月に互つて一と通り取材の方面を説明した積りです。筆不精で、怠けもの、私が原稿へ切に逐はれながら、大急ぎで間に合せに思ひ付のまゝを書くので、重複した所や、管らない所なども随分多かのだらうと恐縮して居ります。また、説明が不充分で、お判り悪い所もあつたらうと思ひます。若し、直接御質問下されば幾等でも御説明中

上げる積りです。御諒承を願ひます。夫れから、少し脱線する様ですが序ですから餘白を利用してクレオンを熔かして繪の具に代用することに就いて少し書かして頂きます。熔かしたクレオンを繪の具の代りにして繪を書かせることは普通の繪の具を使はせるよりは却つて都合がよい様です。普通の繪の具では容易に乾かないのにクレオンは書くそばから乾いて行くので、却つてそこらを穢ごすことが少ない様です。後始末にしても放つて置けば、おぎに堅まつて仕舞ふので、何の手數も要りません。唯、書く時に、早く筆を運ばないと堅まつてしまふのが不都合ですが、技巧の進まない子供には大した不満足も無いと思ひます。夫れよりも鮮かな色が、毛筆で、太く大きく、速に、塗れるので却つて、別種な満足を得て居る様です。白ボール紙に先生が筆を揮つて見せると存外な興味を感じさせます。クレオンを使つて居ない幼稚

園では出来ないことですが、クレオンの折れ屑の仕末に困つてお居での所では、是非、一つ行つて見て下さい。廢物利用で面白い仕事が出来ます。此外、紙の舟に塗つて水に浮かせてもよし、粘土細工の上薬の代りに使つても面白いことは嘗つて書いて置いたと思ひます。是に就いては或人からの質問もありましたから序に記しますが、粘土細工の釉薬とするには先づ粘土細工で出来たものを一週間位放置して乾燥させ、充分堅まつた所で、熔かしたクレオンを塗り付けるのです。塗り上つた所は博多細工そつくりで迎も面白く出来ます。此場合粘土細工を乾かさずに塗ると粘土の乾燥するに連れて容積の縮まる爲めに、上塗りの剥げることがあります。可なり粘土の乾燥するのを待たなければなりません。尤も焼きを入れるのではないのですから、心迄充分に乾かす必要のないことは前にも書いた通りです。唯、要領は細工されたものが容積を變化する中は上薬を掛ける譯には行きませんから、暫く待たなければなりません。

クレオンを塗るときは毛筆は何んでも宜しいので、先の切れた使ひ古しの習字筆や細筆で結好ですが、水彩畫用の刷毛なら尙結好のものです。併し、子供には軸の丸い習字筆の古いものが一番使ひよい様です。夫れから、クレオンを熔かす容器は「陶器茶碗の様なもの」でも結好ですが、ならば金屬製のものがよいと思ひます。可なり熱する必要がありますから、そして、始終、絶えず煖めて居なければなりませんから、火鉢に炭火を入れて五徳に金網を（餅焼網で結好）載せ、之に手頃の金屬容器を五六個並べて載せ、夫々赤、青、黄、綠紫等適宜熔かし、熱い中に書く様にしなければなりません。クレオンの熔けたのは可なりな熱さですから、子供の身體にたらしたりなどしない様に氣を付けねばなりません。

又熔かして居るクレオンが沸き立たぬ様、火を加減する必要があります。餘り加熱するとクレオンが燃え出します。兎に角火と可燃物とのことですから、一人大人が火の用心専門に注意する必要があります。